



埼玉県は福島県を応援し続けます！



福島県の想い

- ・大震災を風化させないでほしい
- ・福島県の現状を見てほしい
- ・県産品を手に取り食べてほしい



キャンペーン第1弾！

県内市町村に福島県支援をアピール

- ・5月12日(月)市町村長会議での福島県知事講演
- ・市町村教育長も参加。修学旅行をアピール
- ・福島県観光PRも実施

福島県産品の販売

- ・埼玉県物産観光館「そぴあ」で販売(5/24(土)まで)
- ・喜多方ラーメンやくるみ甘納豆など33品目を販売

福島旅行を呼び掛け

- ・県民・職員に知事メッセージを発信

職員食堂で福島県産食材メニューを提供

- ・週1回福島県の食材を使った料理を提供

今後も続ける！取組(第2弾検討中)

○イベント時での福島県産品PR、各種交流事業など



福島県を応援し続けましょう！



東日本大震災の発生から3年が経過しました。今もなお、全国各地で多くの方々が厳しい避難生活を強いられています。震災の記憶を風化させてはなりません。

一方で原子力発電所の事故に伴う災害は収束していません。依然として福島県の農産物や観光への風評被害はなくなっておらず、農業生産額、観光客数は震災前の水準に戻っていません。

震災の記憶を風化させず、風評被害を払しょくするためには、現地に行くことが一番です。

福島県に来て、県産品を手に取り、現状を見てほしい。それが福島県の想いです。

ぜひ福島県を訪れて、福島県の現在を知ってください。それが新たな支援になります。



鶴ヶ城



裏磐梯五色沼



磐梯山

埼玉県知事 上田清司